

2013年3月期

ソフト99コーポレーション

第2四半期決算説明会

2012年11月28日

本プレゼンテーション、および引き続き行われる質疑応答の際の回答には将来に関する見通し、期待、判断、計画あるいは戦略が含まれております。この将来予測に基づく記載や発言は、製品の需要変動、景気動向、天候およびその他のリスクや不確定要素を含みます。

本プレゼンテーションおよび、引き続き行われる質疑応答の際の回答に含まれる全ての将来的予測に基づく記載や発言は、プレゼンテーションの日に入手可能な情報に基づいており、私たちは、このような将来予測に基づく記載や発言を更新する義務を負いません。



またこの記載や発言は、将来の実績を保証するものではなく、実際の結果が、私たちの現在の期待とは実体的に異なる場合があります。このような違いには、多数の要素が原因となりえます。

会社概要

株式会社 ソフト99コーポレーション

創 立	昭和29年(1954年)10月28日
資本金	2,310,056,000円
代表者	代表取締役社長 渡辺 泰
従業員数	195名 (2012年 9月30日現在)
事業内容	自動車用・家庭用ケミカル用品の製造販売

関係会社一覧

社名	所在地	資本金 又は 出資金	議決権に対する 提出会社の所有 割合	関係内容
アイオン(株) 	大阪府中央区	482百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸 役員の兼任
アスモ(株) 	大阪府中央区	80百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸
上海速特九九化工有限公司 	中華人民共和国 上海市	5,650 千米ドル	100.0%	
(株)ソフト99オートサービス 	大阪府中央区	50百万円	100.0%	資金の援助・不動産の賃貸 役員の兼任
(株)くらし企画 	東京都千代田区	50百万円	100.0%	役員の兼任・不動産の賃貸

事業セグメントの分類

ファインケミカル	カー用品(一般用・業務用)	 (株) ソフト99コーポレーション
	家庭用品等製品	
	海外事業	
ポーラスマテリアル	産業資材部門	 アイオン(株)
	生活資材部門	
サービス	生活用品企画販売事業	 (株) 暮らし企画
	オートサービス事業	 (株) ソフト99オートサービス
	教習事業	 アスモ(株)
不動産関連	温浴事業	 (株) ソフト99コーポレーション
	不動産賃貸事業	

ファインケミカル

消費者向けカー用品事業

・効率化が進む小売店売場の活性化のため、
原点に立返り、店頭販促提案を進めた。

→シェア争いが激化する中、お買い得品の
投入もあり、フクピカを中心にして、
ボディケアは前年並みの推移。(＋9)

→店頭キャンペーンが奏功し、
ガラコ関連(撥水剤)が大幅増収。(＋87)



・ガラコワイパーの新アイテム「エアロタイプ」
追加により、ワイパーの売場が拡大。(＋72)



ファインケミカル

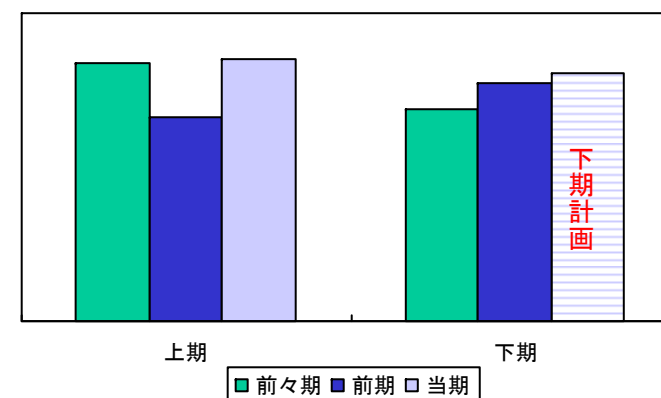
業務用カー用品事業

- ・新車の供給が滞った前年に対して、エコカー補助金の効果もあり、新車販売が好調に推移。自社ブランドの「GZOXリアルガラスコート」が好調に推移(+48)
- ・自動車販売の回復と、新規OEM先・車以外の用途展開も進んで、OEM売上も好調に推移(+60)
- ・難接着物に接着が可能となる、画期的な表面改質システム「フレイムボンド」販売開始。(+16)

→前回のエコカー補助金の駆け込み需要があった、一昨年と比較しても販売金額は増加。



業務用売上推移



家庭用品事業

- ・主力のメガネ用製品の販売が苦戦。新製品ではカバーできなかった。(△16)

ファインケミカル

海外事業

- ・東アジアでは、中国向け出荷、現地生産品共に好調に推移。
新規仕向先としてモンゴルへの出荷スタート。



中国市場向け現地生産品

- ・東南アジアは、円高の影響を受けて既存得意先で苦戦。
新規仕向先のミャンマーでカバーに努めるも若干減。



ミャンマーカー用品店店頭

- ・ロシア向けは、積極的な販売促進活動により、順調に推移。



モスクワ展示会出展



クラスノヤルスク店頭

- ・北米向け好調。また前期開拓した、ブラジルも好調に推移。

→東アジア・ロシアの好調により、海外トータルは大幅増(+93)

ファインケミカル (対前年同期比)

(単位:百万円)

	2012年3月期 2Q累	2013年3月期 2Q累	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
売上高	4,965	5,323	358	7.2%
(ボデーケア)	(1,110)	(1,119)	(9)	(0.8%)
(ガラスケア)	(1,409)	(1,570)	(161)	(11.4%)
(リペアグッズ)	(1,202)	(1,208)	(6)	(0.6%)
(業務用)	(465)	(594)	(129)	(27.8%)
(家庭用品等)	(324)	(308)	(△16)	(△4.9%)
(海外事業)	(460)	(553)	(93)	(20.2%)
(その他)	(△7)	(△31)	(△24)	(427.4%)
売上総利益	2,256	2,429	173	7.7%
粗利益率(%)	45.4%	45.6%	0.2%	—
営業利益	338	550	212	62.6%
営業利益率(%)	6.8%	10.3%	3.5%	—

(注)その他には樹脂容器販売を含んでおります。

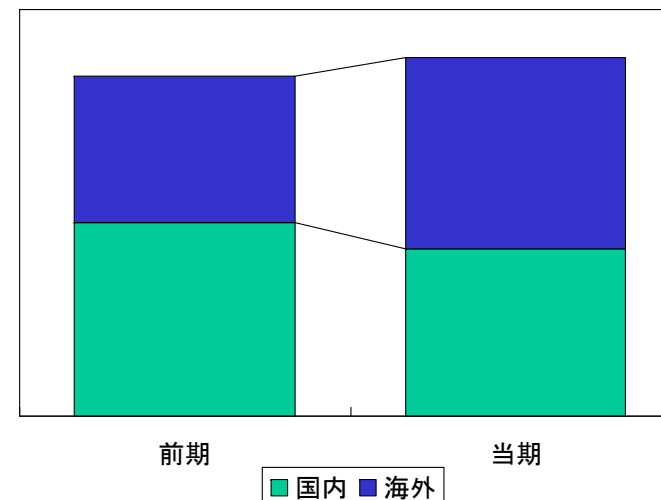
ポーラスマテリアル

産業資材部門

- ・国内は、夏期の節電対策の備蓄生産があった前年と比べ、需要が正常化して、減少となった。
- ・海外は、好調な受注が続き、半導体向けを中心に増加。

→海外向けが国内の落ち込みをカバーして、
産業資材部門は増収(+92)

産業資材部門売上比較(2Q)



ポーラスマテリアル

生活資材部門

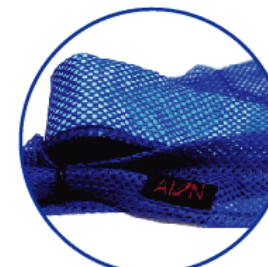
- ・国内は、前期好調だった夏期の猛暑対策グッズ、「サモコンクール」の新製品を追加するも、競合商品の乱立で不発。大きく売上を落とす。(△122)
- ・海外は、アメリカ、インドネシア向け出荷が好調に推移。増収となった。(＋28)

→生活資材はサモコンの不発が原因で減収(△94)

新用途開発

- ・新素材「ピオラスシート」(オレフィン系)を新発売。対薬品性能を上げて、新用途開拓を進める。
- ・微生物浄水、脱臭向け「マイクロブレス」の新タイプ「S-L10」発売。拡販に向けて進む。

気化熱利用の冷却グッズ「サモコンクール」



今期新発売「サモコンクールミスト」



「ピオラスシート」

「マイクロブレス」



ポーラスマテリアル (対前年同期比)

(単位:百万円)

	2012年3月期 2Q累	2013年3月期 2Q累	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
売上高	2,463	2,461	△2	△0.1%
(産業資材)	(1,671)	(1,763)	(92)	(5.5%)
(国内)	(949)	(824)	(△125)	(△13.2%)
(海外)	(722)	(940)	(218)	(30.2%)
(生活資材)	(792)	(698)	(△94)	(△11.9%)
(国内)	(462)	(340)	(△122)	(△26.4%)
(海外)	(331)	(359)	(28)	(8.5%)
売上総利益	724	629	△95	△13.1%
粗利益率(%)	29.4%	25.6%	△3.8%	—
営業利益	339	247	△92	△27.2%
営業利益率(%)	13.8%	10.1%	△3.7%	—

サービス

オートサービス事業

- ・前年の震災の影響による自動車販売の低迷から一転し、好調な自動車販売により、入庫は順調。損害保険会社からの入庫やディーラーからの入庫が好調。
- ・新規顧客の開拓も進み、売上は前年を上回る。

自動車教習事業

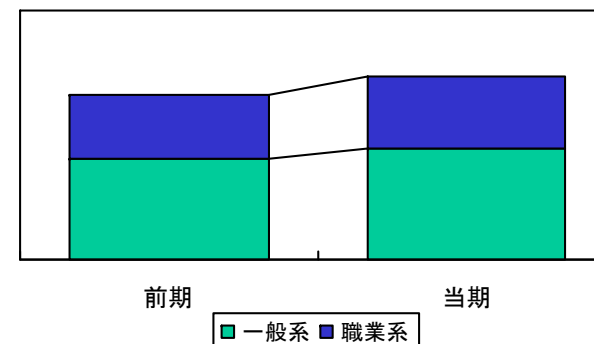
- ・普通免許の入所は1Q苦戦。2Qでカバーし増加に転じる。
- ・職業免許の入所は増加。
- ・2輪免許もガソリン代高騰の影響で入所者増加。

→1Qの普通免許入所者減少の影響残り、
僅かに減収(△3)

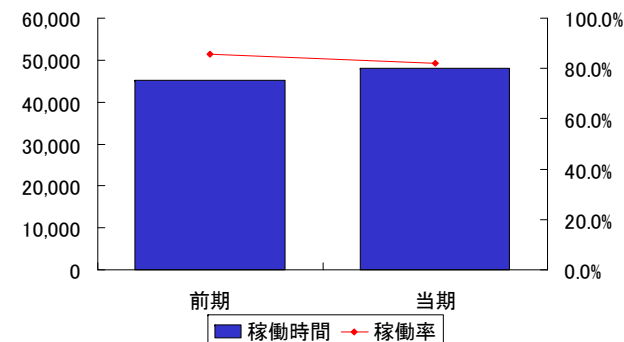
生活用品企画販売事業

- ・主力得意先の生協が苦戦。企画当り売上が減少して減収。(△42)

教習入所者推移



稼働時間・稼働率



サービス (対前年同期比)

(単位:百万円)

	2012年3月期 2Q累	2013年3月期 2Q累	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
売上高	2,535	2,559	24	1.0%
オートサービス	(1,194)	(1,263)	69	5.8%
自動車教習所	(398)	(395)	△3	△0.7%
生活用品企画販売	(941)	(899)	△42	△4.5%
売上総利益	528	550	22	4.3%
粗利益率(%)	20.8%	21.5%	0.7%	—
営業利益	108	107	△1	△1.2%
営業利益率(%)	4.3%	4.2%	△0.1%	—

不動産関連

不動産賃貸事業

- 一部テナントの退去があり、僅かに減収。(△12)

温浴事業

- 積極的な季節性の高い集客イベントが奏功し、来店客数の減少は底を打ち、増加に転じる。
- 飲食メニューの拡充等に取り組み、飲食利用率も増加。一方、整体等の付帯サービスが苦戦。

→ 来客数増加や飲食利用率の向上で増収(+21)



本社



東京支店



不動産関連 (対前年同期比)

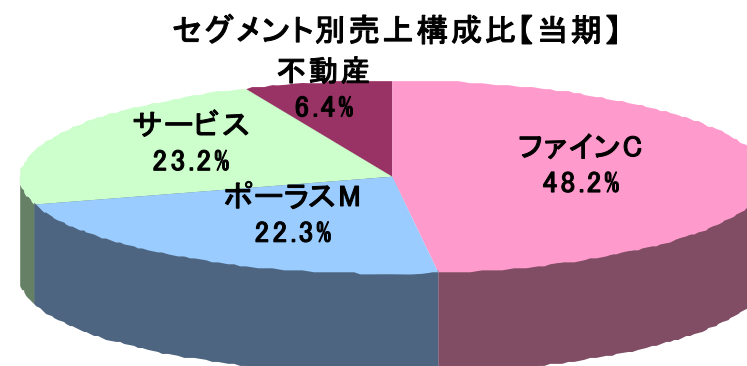
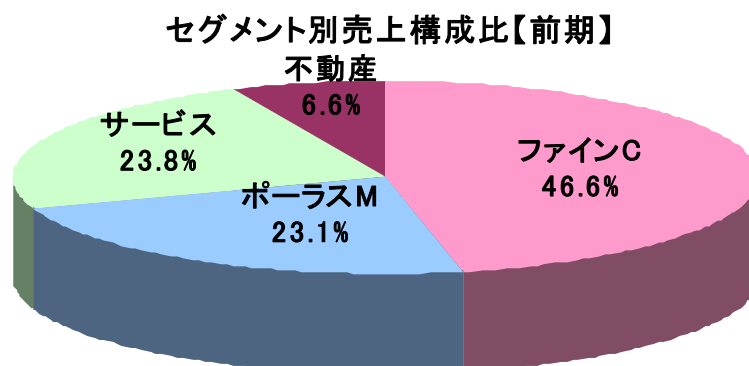
(単位:百万円)

	2011年3月期 2Q累	2012年3月期 2Q累	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
売上高	701	710	9	1.3%
温浴事業	(559)	(580)	21	3.9%
不動産賃貸	(141)	(129)	△12	△8.8%
売上総利益	168	171	3	1.7%
粗利益率(%)	24.0%	24.1%	0.1%	—
営業利益	134	142	8	6.2%
営業利益率(%)	19.1%	20.1%	1.0%	—

セグメント情報 ①

(単位:百万円)

売上高	2012年3月期 2Q累	2013年3月期 2Q累	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
ファインケミカル	4,965	5,323	358	7.2%
ポーラスマテリアル	2,463	2,461	△2	△0.1%
サービス	2,535	2,559	24	1.0%
不動産関連	701	710	9	1.3%
合計	10,664	11,054	390	3.7%

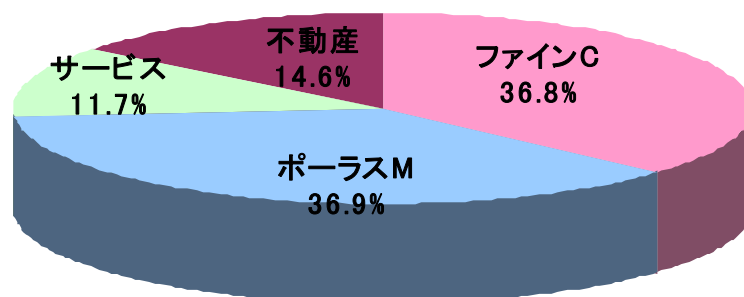


セグメント情報 ②

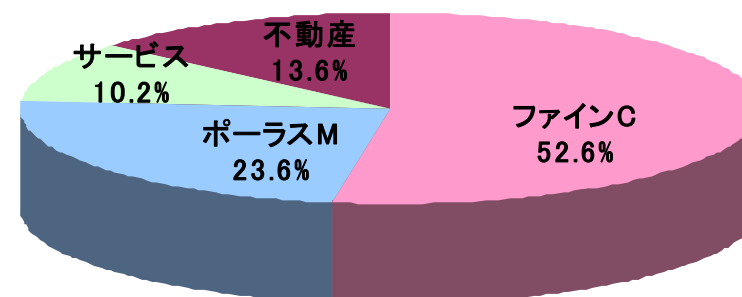
(単位:百万円)

営業利益	2012年3月期 2Q累	2013年3月期 2Q累	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
ファインケミカル	338	550	211	62.6%
ポーラスマテリアル	339	247	△92	△27.2%
サービス	108	107	△1	△1.2%
不動産関連	134	142	8	6.2%
合計	925	1,054	129	14.0%

セグメント別営業利益構成比【前期】



セグメント別営業利益構成比【当期】



連結業績 (対前年同期比)

(単位:百万円)

	2012年3月期 2Q累	2013年3月期 2Q累	対前年同期比 増減額	対前年同期比 増減率
売上高	10,664	11,054	390	3.7%
売上総利益	3,676	3,796	119	3.3%
売上総利益率	34.5%	34.3%	△0.2%	—
販売費及び一般管理費	2,751	2,741	△9	△0.3%
営業利益	925	1,054	129	14.0%
営業利益率	8.7%	9.5%	0.8%	—
経常利益	1,024	1,122	98	9.6%
税金等調整前四半期純利益	1,014	1,122	108	10.7%
四半期純利益	574	685	110	19.3%
1株当たり四半期純利益(円)	26.60	31.70	5.10	19.2%

要約連結キャッシュ・フロー

(単位:百万円)

	2012年3月期 2Q累	2013年3月期 2Q累
営業活動によるキャッシュ・フロー	910	970
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,827	△624
財務活動によるキャッシュ・フロー	△171	△55
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	0
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	△1,088	290
現金及び現金同等物の期首残高	7,915	7,081
現金及び現金同等物の期末残高	6,826	7,371
減価償却費	380	365
設備投資額	457	689

連結ハイライト指標 (対前年同期比)

(単位:百万円)

	2012年3月期 2Q累	2013年3月期 2Q累	増減
総資産	43,128	44,365	1,236
純資産	38,365	39,344	979
自己資本比率(%)	89.0%	88.7%	△0.3%
ROA(経常利益／総資産)	2.4%	2.5%	0.1%
ROE(四半純利益／純資産)	1.5%	1.7%	0.2%
1株当たり四半期純利益(円)	26.60	31.70	5.10
1株当たり中間配当(円)	7.00	7.50	0.50
配当性向	26.3%	23.7%	△2.6%

要約連結貸借対照表

(対前期末比)

(単位:百万円)

	2012年 3月末	2012年 9月末	増減額		2012年 3月末	2012年 9月末	増減額
流動資産	14,885	15,572	687	流動負債	3,171	2,898	△272
現金及び預金	8,290	8,796	506	買入債務	1,081	1,038	△43
売上債権	3,393	3,251	△141	未払法人税等	497	418	△78
有価証券	402	502	100	未払金・未払費用	948	929	△19
棚卸資産	2,260	2,409	148	その他	644	513	△131
その他	538	611	73	固定負債	1,995	2,121	125
固定資産	29,213	28,792	△421	負債合計	5,167	5,020	△147
有形固定資産	22,061	22,254	193	純資産	38,931	39,344	413
無形固定資産	238	226	△12	株主資本	38,560	39,101	540
投資その他の資産	6,913	6,311	△602	その他包括利益累計額	370	243	△127
資産	44,099	44,365	266	負債及び純資産	44,099	44,365	266

中期経営計画

Spiral Up "FINAL"



2011年4月～2014年3月

進捗状況の報告

中期経営計画 Spiral Up “FINAL”



期 間: 2011年4月 ~ 2014年3月 (3カ年計画)

経営理念: 「生活文化創造企業」

・・経営理念は普遍的なものとして再定義し、創業以来掲げていた経営理念に原点回帰

経営ビジョン: 未来の『あたりまえ』を発見する

『あたりまえ』とは

一過性のブームに終わらない、お客様に長く愛される製品・サービス

『発見』とは

発明＝ハイテク製品ではなく、日常生活からお客様に支持される
製品・サービスを見つけ出す

・・顧客の目線を常に意識し、創意工夫をもって、いつのまにか『あたりまえ』となるような、
製品・サービスを創出し続けることで、事業の拡大を目指す

- 基本方針:**
- ① 成熟化した国内市場において、付加価値の高い、製品・サービスを提供
 - ② 拡大し続ける新興国市場に積極的に参入し、事業の拡大をはかる
 - ③ 未来の『あたりまえ』を発見するため、技術・ノウハウ蓄積と用途開発を推進する
 - ④ 社会の要請に応え、正当な評価を受ける企業集団を目指す

セグメント別事業戦略: ファインケミカル ①

カー用品 (消費者向けカー用品 + プロ用美装用品)

① 「ガラコ」ブランドワイパーの販売拡大 (取扱店舗の拡大と商品認知向上)

- ・撥水タイプを中心に取り扱い店舗は更に拡大。拡大余地のあるノーマルタイプの店舗拡大には課題を残す。
- ・撥水タイプの新アイテムを追加し、ワイパー総量での販売量増加を目指す。

→ ワイパー新製品の販売店舗拡大の継続

② シェア拡大余地のある商品群の販売拡大 (洗車関連・タイヤお手入れ)

- ・タイヤお手入れ関連については、計画を下回るも、追加した洗車関連の新製品については、当社主導の売場展開と連動して、概ね計画線で推移。

→ 引き続き、当社主導の売場展開の継続と
タイヤお手入れ関連の市場活性化。

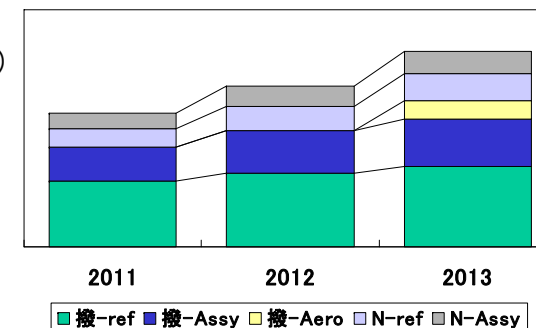
③ 芳香・消臭剤への再参入と新しいカー用品販売チャネル開拓

- ・芳香剤は春の「ペパコロ」に続き、初夏に「ピンギーノ」を発売。
- ・今後の売上拡大に期待。

④ コーティング剤新製品、コーティング剤以外の美装ケミカルの市場導入

- ・自社ブランドは「クリアベールフィニッシュ」を発売。その他OEM供給もスタート。
- ・コーティング以外では、画期的な表面改質システム「フレイムボンド」の展開をスタートし、钣金塗装ルートの新たな開拓が始まる。
- ・「フレイムボンド」については、車関連以外のルート開拓もスタート。

ガラコワイパーのべ展開店舗数
(2013年は中間)



セグメント別事業戦略:ファインケミカル ②

海外市場

① 中国市場での製品ラインナップ拡充と事業拡大

・ガラコシリーズの拡販が奏功。日本からの輸出は増加した。
 また、現地生産品においても業務用製品を拡大し、中国市場での売上を拡大することができた。

→ 9月の反日デモ以降、市場の状況が急変。対応策を検討する。

② 東南アジア市場での拡販と新規仕向先の開拓

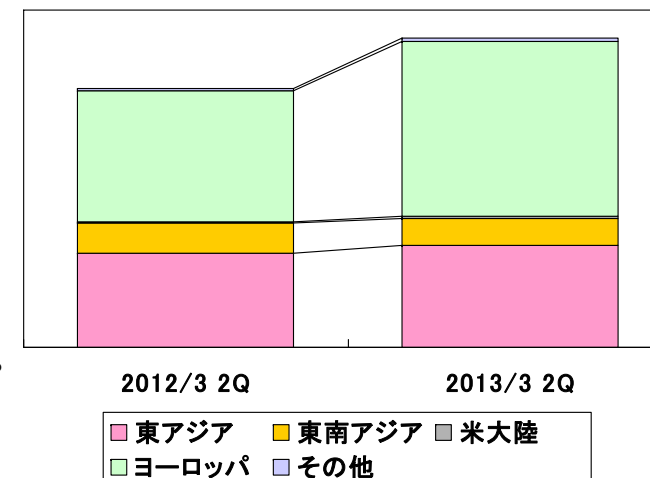
・円高基調によって、既存仕向先が苦戦する中で、ミャンマーの代理店が貢献。
 子会社アイオンと協働で開拓したインドネシアもワーク開始。

→ 既開拓先での足場固めを継続。

③ ロシア市場での拡販

・積極的な販売促進が奏功して、引き続き事業拡大。

仕向先別売上推移



《ファインケミカルセグメント計画値》

	2013年3月期2Q (実績)	2013年3月期 (予想)	進捗	2014年3月期 (計画)
売上高	5,323	10,450	50.9%	10,600
営業利益	550	960	57.3%	1,060

セグメント別事業戦略：ポーラスマテリアル

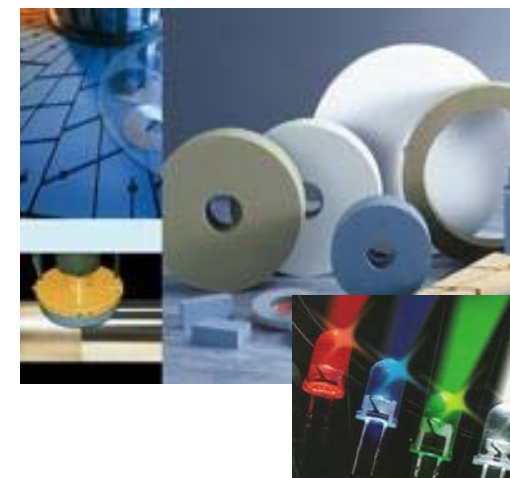
産業資材

① 新しい用途開発の推進

- ・LED基板向け砥石は出荷開始。求評活動継続中。
新たに銅箔向け研磨砥石についても出荷量が増加。

② 既存用途の製品品質向上

- ・品質が評価され、海外半導体メーカー向けの出荷は増加。
HD向け砥石についてもメインサプライヤーとして採用される。



生活資材

新製品開発(新用途開発)の推進

- ・キッチン向けの吸水クロスや「サモコンクール」のラインナップを拡充。
また海外カー用品も中南米への出荷開始。

新用途開発

- ・医療用として、インフルエンザ検査キットの吸収体へ採用。
浄水用微生物担持体の新商品発売。引き合い増加中。
オレフィン系樹脂多孔質体「ピオラス」シートを上梓。新たな用途開発へ。



《ポーラスマテリアルセグメント計画値》

	2013年3月期2Q (実績)	2013年3月期 (予想)	進捗	2014年3月期 (計画)
売上高	2,461	5,050	48.7%	5,400
営業利益	247	470	52.6%	700

セグメント別事業戦略：サービス・不動産

オートサービス

首都圏市場での新規顧客開拓

・東京新工場は着工が遅れるも今年度末に完成予定。来年度稼働開始予定。

生活用品企画販売

新規流通チャネルの開拓

・インターネット通販サイトが順調に推移。EC事業のノウハウ蓄積中。

自動車教習事業

経営資源の最適化と効率的運営

・繁閑のバランス運営に一定の目処。老朽化車両の一部入替え、顧客満足向上目指す。

温浴事業

・飲食メニューの充実や定期的なイベント実施により、来客数の減少は底を打つ。



《サービス・不動産セグメント計画値》

	2013年3月期2Q (実績)	2013年3月期 (予想)	進捗	2014年3月期 (計画)
売上高	3,269	6,750	48.4%	7,000
営業利益	249	570	43.7%	540

Spiral Up “FINAL” 事業計画(計数編)



	2013年3月期2Q (実績)	2013年3月期 (予想)	進捗	2014年3月期 (計画)	進捗
売上高	11,054	22,250	49.7%	23,000	96.7%
ファインケミカル	5,323	10,450	50.9%	10,600	98.6%
ポーラスマテリアル	2,461	5,050	48.7%	5,400	93.5%
サービス・不動産	3,269	6,750	48.4%	7,000	96.4%
営業利益	1,054	2,000	52.7%	2,300	87.0%
ファインケミカル	550	960	57.3%	1,060	90.6%
ポーラスマテリアル	247	470	52.6%	700	67.1%
サービス・不動産	249	570	43.7%	540	105.6%
経常利益	1,122	2,150	52.2%	2,450	87.8%
当期(四半期)純利益	685	1,250	54.8%	1,500	83.3%
ROA (経常利益/総資産)	2.5%	4.8%	52.1%	5.5%	87.3%
ROE (純利益/純資産)	1.7%	3.1%	54.8%	3.7%	83.8%
総資産回転率	0.25	0.50	—	0.51	—

中計最終年度(2014年3月期)に対し、売上は順調に推移しているが、利益面ではポーラスマテリアル事業において、利益率の低い海外比率が増加して伸び悩む。(新用途の事業化が課題)

株主還元策

- ・更なる株主重視の経営を目指し、安定的な配当の継続を基本方針とする。
- ・連結当期純利益の25%以上を目処とした配当政策を実施する。
- ・内部留保については、将来の事業拡大と経営体質の強化のための投資に活用。

	2013年3月期2Q (実績)	2013年3月期 (予想)	進捗	2014年3月期 (計画)
当期(四半期)純利益(百万円)	685	1,250	54.8%	1,500
1株当たり 当期(四半期)純利益(円)	31.70	57.13	55.5%	69.40
1株当たり 年間(中間)配当金(円)	7.50	15.00	50.0%	17.50
配当性向(%) 連結ベース	23.7%	26.2%	—	25.3%
年間(中間)配当額(百万円)	164	328	—	382
純資産配当率(%)	0.4%	0.8%	—	0.9%

長時間に渡り、
ご清聴ありがとうございました